

社会福祉学、ソーシャルワークにおける歴史研究の意味

同志社大学 木原活信（1851）

キーワード：社会福祉学、ソーシャルワーク、歴史

1．研究目的

社会福祉、ソーシャルワークにおける歴史の意味を考えることが本報告の目的である。ただし、「社会福祉にとって歴史は大切である」というような常識的な結論を導き出すのではなく、社会福祉の歴史（性）の在り方、およびそれ自体の意味を批判的に議論したい。

2．研究の視点・方法

歴史的にものを見るということは、「相対的にものを見る」ということ。つまり社会福祉を歴史的に考察するということが、それを相対的に見るということの意味する。すなわち「社会福祉ファンダメンタリズム（原理主義）」を否定することであり、社会福祉を絶対視してそれを原理主義者として捉えてないということである。議論の手順としては、歴史および歴史教育の軽視が問題化している日本の社会福祉学の現状の問題意識を共有した上で、四点について議論したい。一つは、大学の福祉教育制度、二つは、社会福祉学の在り方の問題、そして三つは、歴史を研究する視点について、そして四つは、三と連動するが歴史と実践性について、吟味する。

3．倫理的配慮

歴史にかんする理論研究であり、個人情報等において倫理的配慮を要することはない。

4．研究結果

1) 福祉教育制度と歴史

社会福祉士、精神保健福祉士の資格制度の基づくカリキュラム再編により、大学の社会福祉系の学部、学科、専攻は専門職の養成機関の一つと位置づけられ、カリキュラムは組織化され統一化されたが、その内実は「専門学校化」することを意味した。各大学が資格科目以外は自由に必要科目を設定し、それらを選択できるとは名ばかりで、その実態は、卒業認定のほとんどの単位が資格関係科目で占められ、それが中心化していった。それ以外の科目は周縁化し、そして「その他科目」として配置されるか、ほとんどが消えていった。社会福祉の歴史に関する科目もその典型的な例である。このことをどう考えるか。

2) 社会福祉原論の在り方と歴史

上記の資格に基づく社会福祉原論が名目上なくなったことにより、社会福祉における歴史の位置づけは一層、周縁化していったが、社会福祉原論を議論してきたその中身自体にも問題がないわけではない。大きな盛り上がりを見せた戦後社会福祉本質論争にみられるような議論でされ、それは結局、社会福祉とは何か、というフレームの議論が中心であった。その後の社会福祉原論では本質やフレームこだわり続けた骨太の議論ではあったが、吉田や池田らの議論は別として社会福祉における歴史性という議論は社会福祉学全体の中心的議論の形成にはいたらなかった。

3) 社会福祉史を研究する視点

これまでの社会福祉の歴史研究は、政策側の論理、援助される側の論理、あるいはその舞台の議論（マルクス主義）が中心であり、援助される側の歴史は閑視されてきた。そして、「知と権力とは再帰的な関係であり、権力を有する側の言説や声が結果的に支配的となり、真実とみなされるのに対して、権力を有さないものの言説は周辺に追いやられ、征服され、そして彼らの物語は語られないまま終わってしまう。」[Hartman,1991:275]というように、援助される側の物語は語られていない。パワーを持たない側の物語は結局、語られないまま周縁化され、抹殺され終わっていく。このことは根本的な問題でありながら実はあまり論じられていない。援助する側の論点や物語が主軸となり、援助される側の語りは、文字通り「周辺に追いやられ、征服され、そして彼らの物語は語られないまま終わってしまう」のである。周縁に追いやられた元ハンセン病患者、精神障害者、エイズなどの当事者の物語が社会に届いてきたであろうか。「サバルタンは語るができるか」(Spivak)という根本命題は重くのしかかる。このことは、社会福祉の歴史研究でどう考えるか。

4) 歴史と実践性

上記と連動するが、社会福祉の性質上、広義の意味における実践性という課題は、歴史においても避けて通ることができない課題である。しかし、社会福祉の歴史研究は、歴史学の実証性という方法論のゆえに、これまであまりにも閉鎖的議論に傾斜し過ぎてきたのではないか。歴史における実証性と実践性について、どう考えるか。

(考察) 社会福祉とは何か、ソーシャルワークとは何かなど、近年相次いで社会福祉諸関連学会のテーマにアイデンティティにかかわる問いが続いているのは偶然ではあるまい。これは社会福祉流領域におけるアイデンティティ・クライスが起きていることを物語っているのではなからうか。そのようなときこそ、まさに歴史が問われているのであろう。この問題に真摯に向き合いつつも、保身的立場から、あるいは領域拡大として要求的視座ではなく、社会福祉における歴史の必要性についての開かれた議論を深化させたい。